

神棚拝詞

此これの神床かむどこに坐ます 掛かけまくも畏かしこき

天照大御神あまてらすおほみかみ 産土大神等うぶすなのおほかみたちの大前おほまへを

拜をろがみ奉まつりて 恐かしこみ恐かしこみも白まをさく

大神等たちの広ひろき厚あつき御み恵めぐみを 辱かたじけなみ奉まつり

高たかき尊むねき神教をしへのままにままに 直なほき正ただしき

真まこと心こころもちて 誠まことの道みちに違たがふことなく

負おんひ持もつ業わざに励たげましめ給たまひ 家門いへかど高たかく

身み健すこやかに 世よのため人ひとのためために尽つくさしめ

給たまへと 恐かしこみ恐かしこみも白まをす